



うさぎ組だより

きらら保育園 令和5年2月1日発行



今年度も残り2ヶ月となりました。北風の寒さが厳しい日が続いていますが、子どもたちは、保育室内でもサーキット遊びや電車ごっこなど、元気いっぱい体を動かしたり、気の合う友達を見つけ、おままごとや、なりきり遊びをしたりなど、好きな遊びをじっくりと楽しんでいます。また、身の回りのことも自分で自信を持ってできるようになってきており、「自分でやってみる!」「先生、みてね!」と言いながら、スプーン・フォークのバッキン持ちやズボンの裏返しの直しなどを頑張っています。今年度も残り少ないですが、友達同士での関わりを深めたり、自分でできた達成感を味わえるようにしたりしながら、一人一人の成長を支えていきたいと思ひます。

冷え込みが厳しくなり、感染症が流行しやすかったり、体調を崩しやすかったりする時期なので、感染症予防や健康観察を丁寧に行いながら、健康に過ごせるようにしていきたいと思ひます。



節分制作したよ!

節分に向けて、おにのお面の制作をしました。制作を始める前に、子ども達へ「どんなおににしようか?」と問いかけると、「可愛いおにがいいな〜!」「怒りんぼうのおににする!」「泣き虫おににしよう!」と一人一人が思い思いのおにを思い浮かべる姿が見られました。クレヨンと絵具を使い、はじき絵をすると、「目は黒にして…」「お顔は青にする!」とイメージが豊かになってきた子ども達です。髪の毛の部分はハサミに挑戦し、折り紙を一回切りしました。保育者と一緒にハサミを持ちながら行ったのですが、「チョッキン、チョッキン」「ゆっくり切るんだよね」と言い、楽しんで行う姿が見られました。角や切った折り紙を糊で貼り、一人一人思いのこもった可愛らしいおにのお面ができました♡



* ゆきあそび *

保育室内で、タライやカップを使い、雪あそびをしました。雪の冷たさを感じたり、カップで雪をすくい、型どりをしたりなど、感触をじっくり楽しみました。感触を楽しんだ後は、色水を用意し、雪にかけると、「すごいきれい!」と大喜びの子ども達。アイスやかき氷に見立てて、お店屋さんごっこも楽しみました◎



鏡開き



1月11日(水)に鏡開きを行いました。もちつき会についた、固まったお餅を一人一人木づちで開きました。ちょっぴりドキドキしていた子ども達でしたが、「エイッ、エイッ」と言いながら上手にできました。鏡開きを行った後は、こま回しや福笑い、トントン相撲など、昔遊びを楽しみました。子ども達にとって、昔遊びは新鮮だったようで、「おもしろいね!」と言いながら、夢中になって楽しんでいました。午後のおやつは、みんなでおしるこを食べました♪



~おしらせ・おねがい~

- ◎身の回りの準備など、自分でできるように頑張っています。その際に記名がなかったり、記名が消えかかっていたりする時がありますので、持ち物の記名の確認をお願いします。
- ◎園の方でも確認をしておりますが、オムツやパンツ、着替えの補充の確認をお願いします。
- ◎給食の際、上手に食べられるようになり、食べこぼしが少なくなってきましたので、上の学年に上がるステップアップとして少しずつエプロンを使用せず食事を進めたいと思っています。個別に相談しながら進めますので、ご協力よろしくお願いします。